

「みんなでストップ! 患者負担増」署名 にご協力を

患者負担を増やさないことを求める請願
(通称「みんなでストップ! 患者負担増」署名)

75歳以上の窓口負担も原則1割から2割に2割にすることをはじめ、負担増が計画されています。すでに、この数年の間に70歳~74歳の窓口負担2割や入院時の食事代の増徴の引き上げなどが実施されています。これ以上の負担増がすすまれば、必要な医療を受けにくくなります。高齢者だけでなく、すべての世代に負担が増えかねません。私たちは、社会の中心に安心して医療できるように、以下の事項を求めます。

一、患者負担を増やさない

- 75歳以上の窓口負担を原則1割に引き上げないこと
- 75歳以上の患者窓口負担の原則1割から2割に引き上げないこと
- 入院時の食事代を増徴しないこと

二、お金の心配なく安心受診できるように、窓口負担を減らしてください

2018年10月1日より、75歳以上の患者窓口負担が原則1割から2割に引き上げられました。これにより、窓口負担が増え、お金の心配が増えています。また、入院時の食事代が増徴され、お金の心配が増えています。私たちは、お金の心配なく安心受診できるように、窓口負担を減らしてください。

ゴール
みんなでストップ! 患者負担増
署名にご協力ください

協会では、政府が進める患者負担増計画を阻止するために、「みんなでストップ! 患者負担増」署名に取り組んでいます。

75歳以上の患者窓口負担の原則1割から2割への引き上げなどが計画されており、これらの制度改悪が実施されれば、高い窓口負担を理由に受診抑制が進みかねません。

署名5万筆、会員参加率15%を目標として取り組み、署名グッズなどをお届けしています。署名とあわせて毎年好評の景品付きクイズチラシなどの大型宣伝も実施しています。患者さんにも政府の狙いを知らせ、負担増計画をストップさせましょう。

署名用紙などのご注文・お問い合わせは、Tel 078-393-1807 まで

10～12月は組織拡大月間です!

ご家族・お知り合いの先生を ご紹介ください

保険医協会は県下で7,400人以上の医師・歯科医師が入会し、開業医が安心して診療に打ち込めるよう支えあう、開業医自身がつくる団体です。医学の進歩と医療技術の向上、変化する医療制度への対応、怪我や病気など万が一の時の備えなど、開業医の診療、経営、生活を全面的にサポートします。勤務医の先生も県下で1,500人を超える先生方にご利用いただいております。

ご家族やお知り合いの先生で、まだ協会未入会の先生がいらっしゃいましたら、紹介状などのご協力を賜りますようお願い申し上げます。



お問い合わせ等は、組織部 (Tel 078-393-1817) まで

兵庫県保険医協会

北阪神支部 ニュース

2018年11月25日号 No.288

発行者 兵庫県保険医協会北阪神支部
支部長 中井通治

〒650-0024 神戸市中央区海岸通 1-2-31
神戸フコク生命海岸通ビル5階

☎(078)393-1801 FAX(078)393-1802

http://www.hhk.jp/

第33回支部総会記念講演「発酵食品の魅力」感想文

発酵食品の有効性見直した

かわむら歯科 川村 雅之



松井先生(上)が発酵食品の歴史や適切な摂り方を分かりやすく解説



北阪神支部は10月27日、伊丹市内で第33回支部総会を開催。医師・歯科医師ら27人が参加し、2017年度活動まとめと18年度活動方針を承認した。記念講演では、「発酵食品の魅力～おいしく食べて健康長寿～」と題し、武庫川女子大学生生活環境学部食物栄養学科の松井徳光教授が講演した。川村雅之先生の感想を紹介する。

北阪神支部第33回総会の記念講演は、武庫川女子大学 松井徳光教授の「発酵食品の魅力」だった。松井先生はマスコミ露出も多く、ご存じの方も多いと思うが、気さくな感じでわかりやすく、ためになる講演だった。

先年ユネスコ文化遺産に登録された「和食」の特徴は①多様で新鮮な食材とその持ち味の尊重、②健康的な食生活を支える栄養バランス、③自然の美しさや季節の移ろいの表現、④正月などの年中行事との密接な関わりの4つに集約されるが、中でも2番目の「健康的」なイメージが認識され、海外でブームになって来ている。

(次のページに続く)

(前のページから)

今回の講演は中でも微生物による発酵食品にスポットを当てたものである。日本で誕生した主な発酵食品に關与する微生物は「こうじかび」「酵母」「乳酸菌」である。これらの一つ、あるいは複数のものの仕事によって、味噌、醤油、漬物、食酢、甘酒、塩麴、本みりん、清酒、鰹節などが生成される。

麴は酵素によってデンプンやタンパク質を分解し、甘みやうま味をもたらすと同時にビタミンB群、血圧を下げる効果のあるGABA、抗酸化作用のあるコウジ酸を生成する。酵母はアルコール発酵に優れ清酒やビールなどの嬉しい文化や、鰹節や椎茸のうま味をもたらしてくれる。乳酸菌は腸の働きを整えてくれる。

これら発酵食品を上手に摂取することにより、健康で文化的な生活がもたらされるはずであるが、近年味噌などの国内消費量は減り、海外への輸出量が増えて来ているようだ。由々しき問題である。発酵食品の有効性を見直し、賢い摂取に励みたいものである。

< 2018年度方針 >

- 1 医療・社会保障制度の充実と、公的医療保険制度の拡充・診療報酬制度の矛盾点の改善を目指し、地域間の情報交換や情勢討議、会員・市民と対話する企画の充実をはかる。
- 2 「社会保障・税一体改革」に基づく社会保障切捨て施策の実行を阻止するために、地区医師会など他団体との懇談、交流を推進する。
- 3 老人会や自治会との語り合う会を開催し、予防医学的な健康増進の話とあわせて医療改悪の実態を住民に広く知らせていく。ワクチンに関しても、エビデンスにもとづく情報を提供する。
- 4 会員拡大は、新規開業医を中心に組織率を上げていき、協会県平均をめざす。また、支部活動活性化のため、医科・歯科若手役員の確保に努める。特に、川西市・猪名川地域での支部幹事発掘に努める。
- 5 在宅医療研究会、臨床研究会などを開催し、地域医療の連携をはかるとともに、医科・歯科一体の活動を強め、共通するテーマで研究会を開催する。
- 6 職員接遇研修会、医療安全管理対策研修会などをスタッフ研修の一環として開催する。
- 7 医院経営問題など、会員が共通するテーマでの会員懇談会を開催し、自由にディスカッションできる場をもつ。
- 8 会員や家族、従業員が気軽に参加できる、文化行事を企画する。
- 9 支部ニュースは、会員投稿コーナーなど内容の工夫もしながら、読まれる交流紙として紙面の充実をめざす。
- 10 社会保障をよくする伊丹の会・同宝塚の会に役員・事務局とも参画していく。
- 11 医療団体として、各地の平和運動や戦争に反対する取り組みに協力する。
- 12 原発へのエネルギー依存問題について、学び、討議する。
- 13 低所得者ほど負担が大きく、医療機関にも「損税」としてのしかかる消費税増税に反対する。



幹事会だより

第375回 11月1日(木)伊丹市産業情報センター 参加5人

◆北阪神支部の会員数と組織率

11/1 現在 医科 345人(75%)、歯科 192人(59%)

◆情勢と医療運動対策

「ストップ患者負担増」署名について、到達状況を確認し取り組みの工夫など議論した。

◆当面の支部活動

新春政策研究会

日時 1月19日(土) 16時~18時

テーマ 医師の働き方改革

会場 いたみホール会議室2

講師 西山裕康先生(協会理事長)

参加費 無料

◆次回幹事会

12月6日(木) 14時30分~ 伊丹市産業情報センター会議室B

お問い合わせはTEL 078-393-1805 有本・小川まで

健康情報テレホンサービス

通話料無料 (0120) 979-451

ホームページでも
ご覧いただけます



<12月のテーマ>

月曜日 眼のかすみと白内障

火曜日 唾液と病気

水曜日 お酒と肝臓

木曜日 尿路系の結石について

金土日 唇の荒れ

<1月のテーマ>

月曜日 高齢出産へのアドバイス

火曜日 歯と口のケアで健康寿命を延ばしましょう

水曜日 アスベスト(石綿)による健康被害

木曜日 声のかすれ

金土日 便秘症と、その治療薬について

<年末年始(12/28(金)~1/6(日))のテーマ> お餅の食べ方と食べ過ぎに注意!



☆北阪神支部ニュースへの投稿を募集しています

支部ニュースへの投稿を募集しています。

日常診療にかかわることや、主張、趣味のお話などお寄せください。

TEL 078-393-1805 / FAX 078-393-1802 e-mail arimoto@doc-net.or.jp 担当;有本まで